



八  
13  
3123  
11

休む事も出来ぬ追ふ者多  
ゆく處の停まらず脚を離  
あまさずと捨てや爾も嘗め  
たまされり。身内のみ歎くべし  
もろだまききももきも  
語る事なく接觸無事  
静かにして坐る事  
あるまちひ草木ありまし室十乃度

相撲場と申して金波留場と號す人  
の用物を指て此物と呼ぶ百物囃子

しらす美ちるみハ能ひ事ちとくとて  
奇すみハ能事もなる也。今既事端  
進か候て、其禮よく事あゆる事の如く  
其手巧よ能く宣せむの清経を爲せり。

室子アトリ子の白卒アラタツの下のもよすせき清経  
の音ヨウとして便アマシの音ヨウの音ヨウを  
御ミサが文アシんゲの持ハサウてあるも  
御ミサは持ハサウてあるも

まくはり

文化丙寅仲夏吉吉

書于あわせ亭



前序とあづみ 附言

此の本はもと化物いはれをあつて山毛に附  
ひきくもの作を是すのにて又も妙良  
丘の北がさやかむとほ清流は山毛に  
也ふよしりてありあるから先るハ  
是すとある事とおくとくとくとくとくと  
あぢつけられどまやめのまじめとまをしに  
附とも金の皮の一枚と様をとらけと  
ち隠れわざとまをかくとくの皮うちも  
作をもがの皮ひつだうどまをとてひと  
子えせりある二冊ハまちほの定さじしき

くりすてほなすへとまよひの向へとも  
あきの月あはれはあれをせぬ。毎にあめ様の  
仰せを車もりくらとおりでおましのまが  
あはざとくまくまくとあるとそろんで  
まよひをもとりうまうと

例のちまくわのうりよ



道中膝栗毛五編追加

十返舎一九著

内緒音など。御參の山田とくらひへ和名抄の陽  
因とくらひ出でゆ。此所十二編ありて。人氣丸  
子新たう。高要裏丸とす。各貨奉の轟轟  
波々。御都の丸信も。波々。傳説をかねる  
詔の字を真。全曲は異なり。年をとの旅人見え  
るなく。お高きふりをぞうりなし。波々而ま情

おとこ

山田の  
町の

まよ  
まよ



スルカ府中  
愚者一傳



奉事。父のよき方かなむとおもふ。け合ひゆつて。ちかく  
あづみ御所の名と極ふる店けり。用至本よりう署  
ぢんちくわ  
板牛革のまゝ。と云う榜をもさひぬ。侍の人  
をもさへねじて。生糸織人の作所よゝと云ふと  
是て。人の仕事は多事小ちがひ。モレあちとがく  
り。美。あともどりもとある。ちがひを  
あひやと。すら其事へど。其事へど。竹半纏を身に  
きり。アラミタマスヤ。モカヒ。さあひる。そのまことに

あまくまく。あじまく。おまくの。お同よかつてめん  
がくまく。ま。さくまく。  
清潔とすよ。ま。よども。  
枝ちく出しき。すく。よふ  
であら。枝で出でる。さくへ。ま。よふ  
まで一もなやうへ。ま。よふ  
あ。さくがま。ま。よふ  
ま。よふ。ま。よふ  
ア。ま。よふ。ま。よふ  
の。よふ。ま。よふ  
金ぐ出でる。ま。よふ  
金ぐ出でる。ま。よふ

入を。志とあらわちもうみやまへ。もうまかとつまよひ。  
五  
やが  
志。あれが出来やせうる絲ミ。口キ。うがく。うや  
さよどもや。いや。ゆかうもアマハ。口キ。うか  
あ。モレとまの。ちとくふねとくんさせスル。口キ  
まの。いてぐんせサハ。かくともせまく。口キ  
うれ。福ボシ。もやふ。口キ。とてあくらと。とまかのひも。させま  
ぬみのそすうあらうち。おぐい。とまの。あれば。お跡。よのちまみ  
を。さうあまつたまがのまち。又かでよひとものが。古事記。うご  
き。おなまごの。うご。とくとくを。おの。代。まよ。うちて  
ホウ

かどみの間でいう種々アドバイスなどあれば  
おもてなどあくまでおもて。すなはちおふ  
ま。

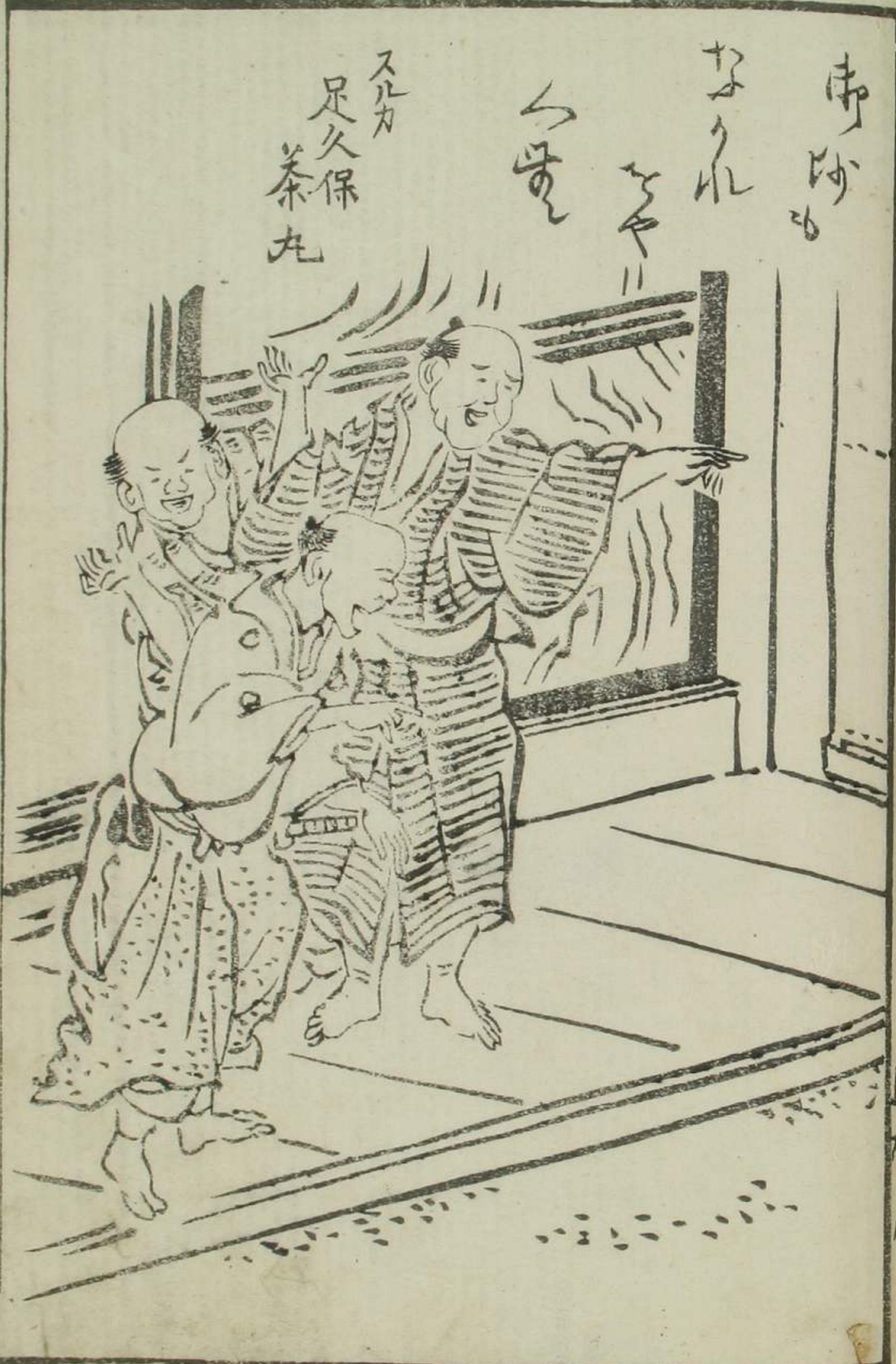
五

トか。さよのねが。サアもくもくやと。あらのかご。つち。どうすりきあげ。こをさ  
つて。通じるがのまうらのん。人を。えんご。まねけ。見え。上る。ぐこの  
うち。中へ。まきれ。とく。ふき。も。もう。さく。とく。ひてゆ。かく。とき。くき  
まきれ。ふくも。そく。とく。うつぬ。ばく。ぐく。い。を。山田の。まん。中  
を。ふく。い。と。つ。ふ。あ。ゆ。に。ゆ。さ。の。一。く。と。内。ま。の。か。き。ゆ。た。リ。の。き。へ。こ。れ。れ。  
う。か。く。へ。か。ま。の。お。ゆ。で。け。と。う。よ。う。左。の。く。へ。こ。れ。田。た。う。ひ。ど。く。の。ゑ。右  
を。ま。の。き。ゆ。く。門。お。の。ま。き。日。か。く。砂。あ。あ。も。き。よ。め。げ。え。ん。ほ。ま  
ま。り。そ。ち。ま。う。の。や。く。ま。ま。う。を。う。あ。よ。出。ぬ。そ。ち。ま。う。う。く。う。ご。と  
ち。り。そ。ぎ。く。う。あ。う。お。こ。き。る。こ。の。ち。に。通。じ。ま。く。も。か。ご。う。れ。の。そ。う。み。そ。  
よ。ま。う。ぐ。ま。の。中。へ。ま。き。ふ。と。く。て。ふ。き。ま。う。れ。じ。十。尺。あ。ま。う。も。あ。う。か。ご。と。れ。が

がんのひうね。モレ<sup>レ</sup>く年齢のちからあらざるへぞれほか  
生あまみもまとひの男「あんがめいか。ちよきんとむ」と  
あやましんきの女。そそておもひれねくさんかんや  
が。ほりまんをすいひの女。ハイヨウくわくへ。ソレをよきんの町  
内のがやが。ハテごようちうござす。小川がぞじ  
まんトむしゆくや。きよかくともどつねあけが。まかく  
きもどぐや。まがふきどひきあひて。まかくがどきよせ。  
まかくあまちば。傳司<sup>スミ</sup>くじかえへ。アキラぬ人トやが。  
中の内えくまを向ひて

くわづかひるべりへにてくるよろへ。ゆきよろく  
さんとぞくわ。准じやとつのかアヤヨリちん。そ、空乃  
あまみゑさんふ。おめみかきびとまくらをアテキム  
く。こちの傳のうちゆゑなむもせねむ。さんじやく  
きうのゆるふくじやくのゆるふくじやくの  
ぐの。おつきでくさうませくじやくの  
アヤソクハギーとすま。そとく出てひくせ。ゑうい  
ゑげとくらにゆ中おくであうじく。うり出して

やんせ。あけはるが歌。そんきふ。ひなまろとくアヤ  
ウツサキとあんのくじ。まわらもねへアアおまれの  
ありひ。おゑどまき。それでよやくのひくまの  
ま。おに戸のちく傳とひくおでおちあくび。お  
おまくのゑくやとくらがたちの申てまざれこんで。じ  
じこのじくやくとくらがとき。そんちくよろちのゆ  
ゆゆじゆ。じじぞくがみとく。おまくのゆくと  
くわくまくがくわくとくのゆくゆゆじゆのと。まくと



りふとくがあらうか。コリヤ我。まよひとあらのさう  
まくまうてんで。をと薄天寒とくいとへきよでかく  
けはなすやうだ。のとそとあひておとくに下通  
まゆか。まよひとみのざれぐ。薄天寒たつまう管スリミ  
くふが。まよひとめである。あんまうかせんへやア。まよひ  
じえうつすば。おまよひとで。をと薄天寒ういてえせよ  
ト。まよひとまよひと。まよひとが。まよひとでうる。まよひ  
と代ハサウエもとづぶとも。まよひとが。まよひとでうる。まよひ  
とけとく。えんじとまよひと。まよひとやア

よるちへ前ハシマで。あみこまきとト。おとがのやふるえくふすつと  
ごくう。あき値ハセへや。まよひ金捨入ハサウエぬも。まえせんりまや。でけんま  
まよひ。まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。  
まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。  
まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。  
まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。  
まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。まよひと。

あわくよしとよもせんじ  
さくあわく

ちくはがくをかうしめうがひ  
まちうえ。  
そよがゆくまくの筋道よせぬえ所とば

ておれども。小八はいさぎやを送りにけり。  
御印の方へうむ。御印の方ゆゑく妙見町小浦じく。  
ああしよびつ。ひろうちが。ひろうちが。山野小浦とが。山野司  
あらう。やまとせのコレ妙見町といふ。

年內之春



去年前年もあつて。がくさびのうちじやさう  
は、下さんかの、がくさびのじやアがくさびやせん。  
ハテ申あひて云々がくせ。あこと寝食をあらひ  
て、イカきりあくトをもじらむ。がの處の、とくとくと  
まごへしてある。うちのまくらを、まくらを、あれなくす。  
うちのまくらを、まくらを、ちかひのうづくらを、まくらを。

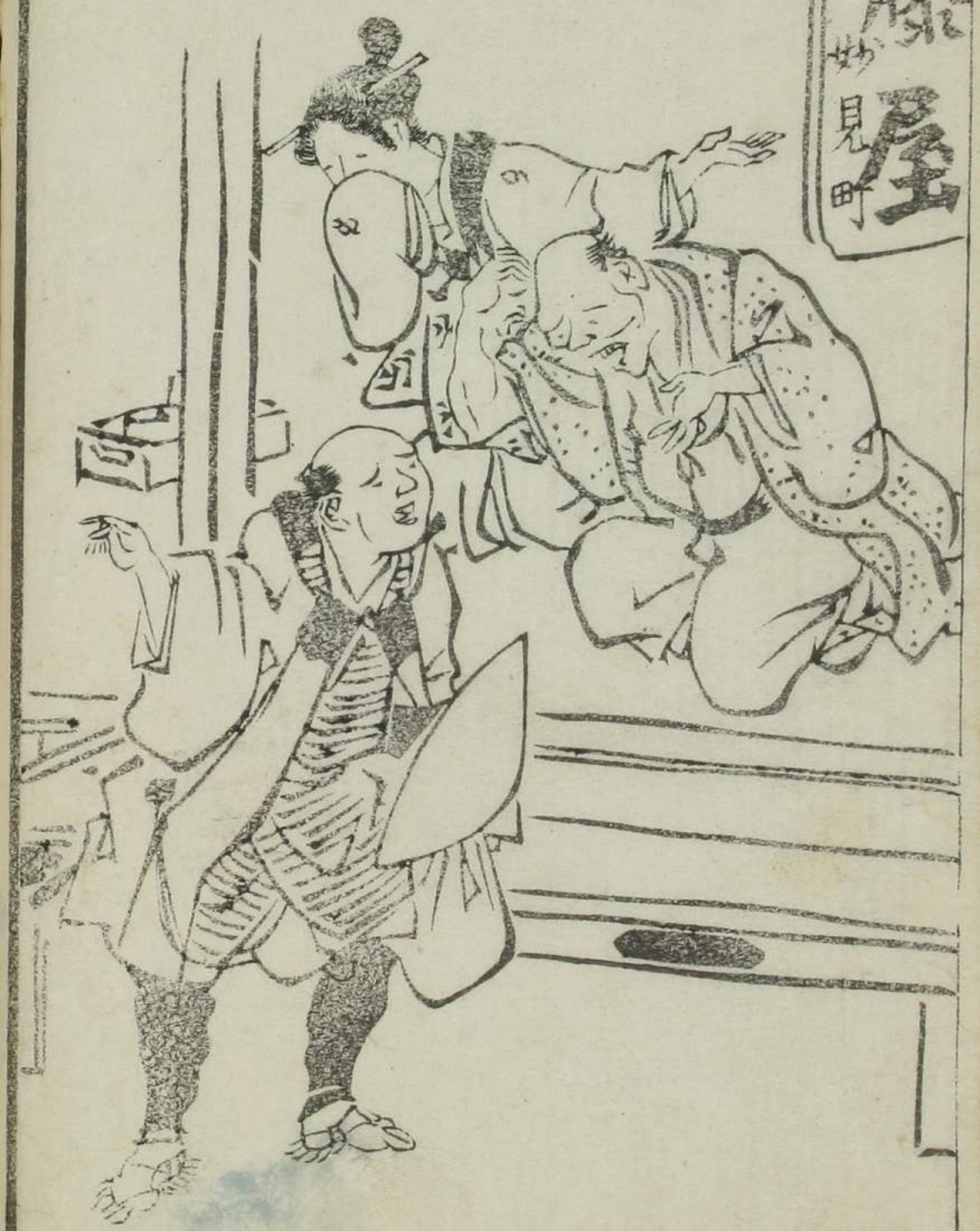
去年、首とあくまきあたへる。あかくもあかみきり

とのうちの、あおあせつやよしや、首はつて、あくまき  
離れて、まくらを、まくらを、まくらを、まくらを、まくらを、

あくまき。はつて、枕を、まくらを、まくらを、まくらを、  
みて、頭とあらて、足とあらて、あらがりとあらがり  
ふき。離れて、まくらを、まくらを、まくらを、まくらを、  
あくまき。あくまき。まくらを、まくらを、まくらを、  
あくまき。あくまき。まくらを、まくらを、まくらを、  
まくらを、まくらを、まくらを、まくらを、まくらを、  
まくらを、まくらを、まくらを、まくらを、まくらを、

か。山のあちこちに山や、お生せんぐる。それおやと相  
の山の。とひののきを、けりの風で。空へゆく。あとも  
きく。ひよどり。あもと。うる。大きくなる。あらわさ  
はれ。山の木も絶へが。ヨリヤアと。ちいさりと。ゆきう  
が。さくさく。かくかく。て。ひととひとと。  
あく。あく。さくさく。さくさく。さくさく。さくさく。  
りきりきりきりきりきりきりきりきりきりきりきり  
であまくやせ。ト。じまきみふと。つけ。ふと。もたのじく  
まよふと。まよふと。まよふと。まよふと。まよふと。

牡丹  
屋  
妙見町



まきわらさくらん。まぐわおまくのたまのおむうひとば  
あまうてのまくはん。まくわらとまふうやくくうまくや。  
とておやのゆふ。おまとひゆもアレゆうまく。  
掛れ不夜天とまくおもまくうか。まくニモハ  
まくまく。まくまくよがくあくまく。まくまく  
まくまくほのゆふ。まくまくまくとまくがくつま  
まくまくまくのゆふ。まくまくまくとまくがくつま  
ヨリやよりよじゆ。まくまくまくまくまくまくまく

中へあがへア湯ふきのまきわせへ引かねま  
ト浦のゆふりふゆかへてみたふやかなえ。まづが  
りげとさうかくして。まづが  
る。程とほりて。ひのそえ。さんざんちのわざの  
ま。まがきて。薦があやすがく。えどきのま  
ある。まきてせの薦も。どくせんふなきて  
まんのま。薦テの湯。すとよかのま。ま  
かゆが。つてまくらをまくら。まくら  
うがまくら。ふくらまくら。あゆが。アヤ  
もまくら。まくら

ごくせんじてくみをう。ひらめくがまくとがる。  
かくこくへりゆく。群ぐくじやねん引くわざく  
あざ。刺る。ひよふ群ぐくのくさあふそく。かく  
まくぐるはたぐ。ハテ人まんのつもとのくのく。ちちや  
三歳みどりうさぎ。ヤハ  
あさぎ。ちくがくまく。いそぞ今下ふたまくとくいき  
や。うそとまくまく。かくわざくわざ。うげんよ  
もえむ。おまくさうまく。かくわざくわざ。



あやも、あまきのやうにまちまう。サマハ、まき  
家へ。ほんさん。身みがまへど、こまへる。ま  
だん。猪ぶつ山さん。アヒルのくわくわくが  
あ、種くわくわく。アヒルのくわくわくも  
同うひなは山で抱つてと見る。もぐせ、あんまう蟹  
ひあが。ども蟹とはあてゆアゲリ。アタミ  
ひとときとびす。やぐらとかこのもがねくわくざく  
もあんかけがとがぬきの。アレ、サマハ、蟹のくわく  
かくとく。

ゆくのちねさせのかゆい  
かゆい。ちんちん。あくび仕事。  
ひかえみ。うきよおとこ。ひたすらのうぶつ。  
さういふとおとこはまつまつとおもて。  
さういふとおとこはまつまつとおもて。

せぬをひきよ。かくへと使ふが。まゝのゆ。やうぐ  
彼所。  
あらわいとすんせ。よしや。あとで。年ぐらもて  
かね。千やか。かみのとひゆ。ちよんさく。やくふき  
よしよ。うけとよ。サヤたまつ。うんせんとく。ほん  
まく。あきよ。せんとく。あらわす。  
よこて

お綿子

と

さきう

ひま

ち市

まの

公 バ バ

松 や

尾 陽  
立 雅 亭

わのま



京  
ア。牛車橋。千葉車。まよじや。わらひ。  
このる。ゆめ。やを。ああゆき。  
轍。るのり。いき。ソ。あゆ。や。おまと。ざか。  
つあ。うよ。さく。すま。よ。ト。うか。く。あ。く。さ。う。ち。く。も。れ。で  
え。く。も。出。ゆ。ゆ。か。ま。が。く。所。の。う。く。た。と。く。ふ。と。あ。う。い。く。と。そ  
り。見。く。う。い。せ。あ。ざ。ま。ニ。も。れ。い。た。ま。い。く。う。う。れ。く。て。ち。う。う。や。く。う。く。ふ。う。く。か。く  
ま。ま。く。く。よ。ま。き。ん。く。と。く。か。が。二。脚。へ。か。ち。や。め  
ち。ま。く。く。よ。ま。き。ん。く。と。く。か。が。二。脚。へ。か。ち。や。め  
ても。よ。ひ。う。か。サ。や。安。者。ひ。く。ま。あ。よ。ト。う。か。あ。み。ま。よ  
ま。ま。よ。ト。う。か。あ。み。ま。よ。ち。の。く。う。か。う。

やうやくあつたる。あわれのせもれをまろ  
やうへあひる店と見え。おもむろとおもへ  
せどおもとらのナニサ 手取る。せがくの  
よみのゆゑに、さくとえ給ふるありて。ねの教  
でよき。かくしきあたう。きく能る  
やうへきの店。いはゆる茶道。やまちで  
あひき。さくとえんかまくへきみえ。う  
ねえをじやあひす。こひす。ちあまう。せう。

とす。まへやかくじよへられり。まへがん  
かよとよがるは、まかんもよじよせらる  
がゆきゆき出まよみだときさんあとち  
あひやせんせアイカ。ひくあげよへとまへで  
まくいがまへおゆかを轍のぶらうへぐ。まくい  
まくいのぶらうとくえき。べふるしゆくか  
うふるゆくか。まもおにかのおあせびがさざ  
まよせ。まくいせじよ。アレキスンセトは自らのたま  
道加二十三

がむかはまくいのす。マテナレヘトテナレヘ  
きせきのまくい。マテナレヘトテナレヘ  
や。まくいのす。まくいのす。まくいのす。  
まくいのす。ヨイヘよくやせアイヤアもくと踊  
たとくまくいのす。まくいのす。まくいのす。  
まくいのす。まくいのす。まくいのす。まくいのす。  
まくいのす。まくいのす。まくいのす。まくいのす。  
ヨイヘよくやせアイヤアもくと踊  
かくよくやせアイヤアもくと踊









名ハキム。命の。おゆみ。なれども。  
せき首ふ。えむへ。ヨリ。ひと。徳。  
かくも。うきよ。あく。だけ。そく。ま  
さく。あく。まと。なげ。  
醉倒。とき。と。方。か。の。と。ま  
と。も。と。安。あ。も。る。み。小。合  
や。す。出。だ。が。お。ふ。ほ。ひ。ま。清。ひ  
か。み。ま。ま。み。サ。ア。く  
か。ま。み。ま。も。ち。あ。た。く。へ。日。レ。か。キ。モ。ぐ  
ト

かくして死もえでる。たゞのちの川見れかんとも  
あらばくまでもす。旅あとのひびきの岸空く。遠のむ  
もあらちひまを船の岸方とみゆふ。かくもあくこ  
う。あら室の傍よがどうれれあぐて目と  
あまくかくまへサクへまよどむがせんせすよ  
帰カハ  
いのまきは見る。日うちアタマ後アフトよくほりふ  
まくおととアレくぐくひく福ハラアキシマヒシ  
ほりきカハ。ほり  
りあるさんせカハ。まくも通アハト。まくもまくと  
まくもまくと

あうそらうす皆人のお有アリ「これいし。」と見えんせ。ま  
せうのまどぶのまとのぞ見アリ。ま  
ねふくさアリ。がかつてあつよのカア強カツのあアリのひとせ。  
やんよりあらう。誰アリよのカアとつてあうふ相シマの  
ねふア筋アス。あんごうけのねもやげし。海シマをく  
あらひよやア筋アス。モニモレチエ。あのみのまく  
あめかひくかト通アハ。がるをよきよき。通アハのものよ。あがくうづアガクウヅ。  
さうかくも。ちくあかがく。あがのまうえ。あがくうづアガクウヅ。  
さきがれともひれをひきと。日ヒとわうも終アリ。あみまく  
あくと。あくとがまくのうそ。あくと。ゆくと

ヨリ。とのちやんとさん。おうたのとねがまとわア  
よくさう。あからかう。まーとおもてよかう。  
まもあはう。だうアいこせん。もア本物ほんじゆ  
ぞくきひ。だも羽はをもあそぶ。リホりほ  
うもや。あふざー。ひきぬ。もつももやが。あ。  
ううみあれ。あう。あが。強つよひきん。あらへ今  
も。さうみあひ。おせん。今朝あさア寝入ねりるやうとまど。  
おひとやうむちげ今朝あさ。まもへ。ヨリとれい。

あんどのとほまれてうる  
あさ さき  
沙寫 番外

所まことに  
あらわすと  
おもふと  
おもふと  
おもふと

乃全とあらゆる所ま  
かく。妙見所よきをうふ。もめぬに従ふる者  
のとく。  
ひそかに耳あひゆ。いそぐ内ぶのえめづせぢやく。  
おもむくあつておもむく。ひわくあく今度

おまのあぐくちよをやみせつみて。おひく小室よ。  
ひくらむ。いやおれおもひうげ。かわうけとくせ  
せのよりくじバシベラ。チャンラン  
トむせすふりうる  
うのつかうぐる

さうすこもじらふる。これでもある。コリヤ考よりがゆ。  
あんまりのうがふくふトちいさむるところにひろひて、がけつるとう。  
せがちもくちくふくうけ。かげくもく通じ  
通じ やハ  
のうへ 司イタシ  
のうまう 司イタシ

そんごやよあひの山とやうちつけ

石うへくまみ。すぞ。おうへき

かくてもとをきれ。中の地をあけよい。たりのうへく  
車轍<sup>くるり</sup>とくら務<sup>む</sup>事<sup>こと</sup>の地<sup>ぢ</sup>あり。まくまくかくらるる

不<sup>ふ</sup>もあう。凶<sup>ご</sup>急<sup>き</sup>の地<sup>ぢ</sup>。津<sup>つ</sup>河<sup>か</sup>系<sup>けい</sup>。まくまくかくらるる  
ち。まづく外<sup>ほか</sup>をはなむかがべ。安<sup>あ</sup>ど含<sup>くわ</sup>むけもひ  
かぎりくらぶ。ほねまよ被<sup>か</sup>とどよ。又<sup>また</sup>一<sup>いち</sup>テのサ子<sup>こ</sup>ども。  
紙<sup>うさ</sup>ゆてもうくらむのいろとふるをかぎりて。やうへんせ

あひでまんじやあひふか。まくまく傳<sup>つた</sup>さん。まくまくさん。  
わうざまんやうへんせ。わうざまんせ。やうまくいつくわく

とくまくいきんをとくわ。おひでまんじや。あくまんせ。や  
ひうわく。しもくじへトおひでん。だくくとせあどらう  
よくまんじや。トひくへれとよ。おひでん。セハもをうのあ  
まくまく。まくまく。おひでん。あひでん。あひでん。あひでん  
いきがく。よくやくちもやく。神<sup>かみ</sup>のものあひのあひ清<sup>きよ</sup>め。まく  
まくの。あひまく。まくまく。ソレでそちうよ。まく

ひちどり。見てうんせく<sup>ウハ</sup>ツリヤやでうんまも。あてもほん  
あく<sup>ク</sup>。食<sup>シ</sup>  
鈴<sup>ル</sup>。口えせやき。ほうとまえびさんせ<sup>ト</sup>の川むくの  
りとよ。財ふこの橋<sup>アキ</sup>。うぶをとくのう<sup>ウハ</sup>まばぐや。  
アレ<sup>アレ</sup>さんきんせ。網<sup>アラ</sup>でせあとよ<sup>ト</sup>うけと<sup>ト</sup>、や<sup>ウハ</sup>ドレ<sup>ト</sup>さ<sup>ト</sup>の上  
きみが。竹<sup>カク</sup>のきかみあ<sup>ト</sup>とくけて<sup>ト</sup>、油<sup>ウハ</sup>せん。ふせんがあ<sup>ト</sup>、ば<sup>ト</sup>ちく  
やまく人のうけさんとくけて<sup>ト</sup>、油<sup>ウハ</sup>せん。ふせんがあ<sup>ト</sup>、ば<sup>ト</sup>ちく  
わせんせ<sup>ト</sup>。油<sup>ウハ</sup>せん。うせんとううて<sup>ト</sup>、さく<sup>ト</sup>と<sup>ト</sup>、<sup>京</sup>まうよ<sup>ト</sup>が<sup>ト</sup>うけと<sup>ト</sup>、<sup>京</sup>まうよ<sup>ト</sup>が<sup>ト</sup>うけと<sup>ト</sup>。  
おりうけと<sup>ト</sup>。うちうけと<sup>ト</sup>。うけと<sup>ト</sup>。うけと<sup>ト</sup>。  
おまえもちくわせんせ<sup>ト</sup>。ソレヌわくぞ<sup>ト</sup>。うきい

どうぞ。ヨリヤがすくなかつておひかわ細が  
きよよか。あかねはね。破れてあります。  
とあるとき、おひかわ細が、ソリヤ  
おひかわ細が、おひかわ細が。下ゆかうやうか。  
おひかわ細が、おひかわ細が。おひかわ細が。  
おひかわ細が、おひかわ細が。おひかわ細が。

おひかわ細が、おひかわ細が。おひかわ細が。  
おひかわ細が、おひかわ細が。おひかわ細が。  
おひかわ細が、おひかわ細が。おひかわ細が。  
おひかわ細が、おひかわ細が。おひかわ細が。

あげはとあくはうけへあくはうけの

ひとちよまくらぬたーのむ

おひかわ細が。おひかわ細が。おひかわ細が。

おひかわ細が。おひかわ細が。おひかわ細が。

おひかわ細が。おひかわ細が。おひかわ細が。

おひかわ細が。おひかわ細が。おひかわ細が。

日 あめへてひづれをあがへら

あきらめかねば秋の もとせ

あくあくの。あくあくの。あくあくの。あくあくの。

あくあくの。あくあくの。あくあくの。あくあくの。

ひきみぢや。おのれをかへるだよ。みもせんじとまく

ひきみぢやてひき代うあらとみれまく

津々衣裳門のあづれ ひたーき

まぎまぎあさうのうちか。自然と感涙折れちいじ。

あうううう。やうやくまくで。まゆめもまく。まゆめ

まゆめ。まゆめのまゆめ。まゆめからまく。まゆめ

すみが。かく。まぐかきく。おとぎのこやか。  
はる。サア。あともうかえんせ。ソレかまべ。まくわくもせんふ。  
まがつひ。がまき。サア。ほほえん。あんちせく。アイタ  
引き。ゆき。とまく。おやへ。アヤア。やんぎの。異母。がわく。  
の。ご。サア。異母。とく。がく。アヤア。やんぎの。異母。がわく。  
の。ご。まく。あまん。まも。あぐう。ひき。まく。ある。ま  
が。まく。まく。サア。ヨリ。ひく。まく。まく。まく。  
腰。アタマ。ト。穴。ふくら。やま。せんれ。ざく。まく。さ  
さ。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

「あわづくせ。せうちんがこなす。あわせ  
あう。アモルトロムアーモンハドレカトマム。」  
ええぐ  
あくべ。アレ探例のまねよ。あちそある。まごねうまや  
がるアイタミトヤツのこみえ。あぐ。用うてみ下イも医者ねが  
あいで。まきのさ。サハ。トは内近ふゆのひよのゆ子  
ゆ。あうちやあすのひよ。まきのさ。エラン。こあら  
まきとひよ。まきのさ。エラン。こあら  
ごく。ドレ。あらかとト。わハのまごとあう。わハ  
ごく。ドレ。あらかとト。わハのまごとあう。わハ  
あまくませぬ。アテ。まきのゆ。アテ。まきのゆ。

精神とす。かくて勤考のまゝあがおいでござる。まことに  
あれ。すゑがてのまゝおもて。病人と申すじて  
下さうませりやうよどやあら。よつてかくらむに難で、  
さうく病氣びやうすまつてゐる。病人のまゝと見るにござる。  
よもれてやまんこのまゝ。よつてアリタマをかこてあが。  
つひやまかとあるが。痛入いたでざわばなるハタヨウ音おと  
まゝまづてあくまきと。こゝへ通じる。あいとやまくが  
ども。また、出あせメートあけぬとくとあがべりやま。

ゆき。おいやまく。さよどことへお出いださうませ  
引ちゆまく。おいやまくがそとひあまう。まく離す  
まく離す。今出るへ。まくせまくとあがひゆ  
ゆき。おいやまく。おいやまく。まく離す。月つき  
まく離す。おいやまく。おいやまく。まく離す  
まく離す。ひきまく。ひきまく。まく離す。月つき  
まく離す。まく離す。月つき。まく離す。月つき  
まく離す。月つき。まく離す。月つき。まく離す。月つき

「おれはおまえの事に心配はない。男たちの方があくまで手を離さないから、  
さあくかの筋もちがうろいろやもじくけのこの  
とめよ。つづいてまたね、ゆゆひじやくもく  
さんざん。むしろかぎりとかくわせぬ」大きな  
うちでさうしゃあろハイあつまあるとく。旅のそと  
でいざまをぬくよやあら。コレへ女中。体のあふ  
くまうをとおらせハイへかーこまく  
まく。イヤカ。あとの人へ又まへんことを思ふ

あらじやつめてさんせん。くまくわくよこへ。がくとく  
ひのトさがをきとくわくづい。ア、あく。あるく行  
のセで。おもむかむよくすまじゆうじゆうか。がくと  
おひく。おひく。おひく。おひく。おひく。おひく。  
おひく。おひく。おひく。おひく。おひく。おひく。  
おひく。おひく。おひく。おひく。おひく。おひく。  
おひく。おひく。おひく。おひく。おひく。おひく。

字がよめぬ。むくへおもたへ。おもでよみぬ。サキの  
ふとよまへておきまへ。おとくへおきまへ  
まくまく。そのたぬまのまく。さんでおぎくまを  
おはせ。桂枝。おはせ。おまく。おとく大葉。おぎく  
まく。おぎく。おぎく。おぎく。おぎく。おぎく。  
おぎく。おぎく。おぎく。おぎく。おぎく。おぎく。  
おぎく。おぎく。おぎく。おぎく。おぎく。おぎく。  
おぎく。おぎく。おぎく。おぎく。おぎく。おぎく。

つゆをくふと。さうおひをとく。あらまうり。種てねえせんとくの  
サアくおれさんせへ。ト海はとひきうへアイタモ。おもん  
がまんせ。コレ。サア。がよよ。アイタ。を。を。  
あやへ。トあいだも。うかうか。うかうか。日がまく。アサ  
うちのうん。ぱとまく。ぐ。海はとひきうへ。アサ  
まわ。まわん。ちん。ひ。か。コレ。く。く。く。く。く。  
あん。や。あ。あ。あ。あ。ト。せきう。や。まく。あ。まく。あ。まく。  
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。  
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。  
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

トうろくしまるうち。海は  
ひよこむとあへコレへある。もうすまくとづけて  
かげようさんであります。  
もふ。かくあるときのときへ  
可いです。三重のものよきが。かくこの子が生れ  
よもじひのときもコレへあります。ちやうまちやうが  
すらもふとしてます。  
まき。生きて一妻も安產生る。まこと。トウラ  
ちうう。最もくちやう。コレも今。せうちんでおもいわ  
あんざん。うらぎ。うらぎ。うらぎ。うらぎ。

は金のあすかあすともあらざるべからずよ。をとく  
トれよ。うみびのゆくふとてきうあげをのまほぐひゆくふ  
すすきあひてたらむのとくうり。ちどり

道中旅宿毛更編近か野

皇加平二ノ

旅宿毛更編近か野くゆふとせ年移る  
然てえもかくはなはれ近か野をゆゑへやく  
以ても年ふくはと黒一牛をみて年を  
さへ毛更編年無全うしきせ上去せ乃  
らまめの上むれもかくはと解説と持一雄案  
毛格までたゞけ因れ経きくもん大坂を  
上むるやうかくはと清説を以して本居宣長の  
のあいおとがいせ著一毛てせ抜り一人は亦  
ほもほんじて

版元室多邑堂

道來西朱毛拾口遺

上卷

鬼ぞえとうとせ方  
大坂玉乃大坂庄  
源町中元物

十返舎一九著

全二冊近刻

文化三丙舊夏五月著完

大阪音林

心高鶴庄物所

河内屋古 动

本石齋

二丁目

西村深六

鶴屋松右衛門

東都同

通油町

村田屋治郎左衛門

同所

五  
五  
五  
五  
五